

令和7（2025）年度 家庭教育支援プログラム指導者研修④ 実施報告

実施日：令和7（2025）年8月20日（水）

今回の研修は、3会場（総合教育センター・塩谷庁舎・下都賀庁舎）に分かれて開催し、ファシリテーター演習を行いました。

○グループワーク「家庭教育支援プログラムファシリテーター演習①」

総合教育センター職員
教育事務所ふれあい学習課職員

【午前の演習】

これまでの研修で得た学びを生かし、「親学習プログラム」の再構成を行いました。プログラムのねらいに迫るために、効果的なプログラムの展開方法やワークの内容、時間配分、役割分担などについて、グループで検討を重ねました。

グループの仲間と協力し、ワークシートや提示資料などの作成、必要な準備物、場のデザイン（机の配置等）についても検討し、より良いプログラムとなるよう熱心に協議しました。

受講者は、教育事務所の担当者からの助言も参考にしながら、対象者の実情に応じたプログラムの再構成について理解を深めました。



【午後の演習】

グループワークで作成したプログラム展開案をもとに、受講者は演習に取り組みました。演習では、受講者同士が参加者役とファシリテーター役を交互に体験し、ファシリテーターとしての声かけ、プログラムの進行方法、ワーク中の参加者との距離感などについて、これまでの学びを生かした実践的な演習となりました。

演習後には、参加者役の班からファシリテーター役の班へフィードバックを行い、双方が気づきを共有することで、次のステップにつなげることができました。

この演習を通じて、受講者は学習目標の達成に向けた適切な声かけや支援の方法について、体験的に学ぶことができました。



総合教育センター



塩谷庁舎



下都賀庁舎



☆ 受講者の声（アンケートから）

- ・楽しく学ぶことができました。実際のプログラムを行うイメージができたので、活動に対する不安感が無くなりました！！
- ・親学習プログラムを実施している地域団体に加入して、今回学んだ内容を生かしていきたいです。
- ・プログラムを作り上げること、そして実際にやってみると思い通りにいかないこと、様々な気づきがありました。今後、参加者の皆さんが明るく元気になって帰れるようなプログラムを作ったり、実践したりできるようにしたいです。
- ・時間通り進行することの難しさや、意見があまり出ないグループに対するフォローの仕方などを学ぶことができました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp